

2020年の東京オリンピックを本気で目指す。

開会式で最高の行進曲を奏でる応援団として。

福島市が生んだ大作曲家・古関裕而の功績を知り、音楽を体感すれば、それが決して大それた夢ではないことが分かるでしょう。

でも、そこは世界の祭典オリンピック。

「ALL FUKUSHIMA」の夢として行進しなければなりません。

そのために…来て!



LIVE GUEST

紺野恭子



Shimva



ゼロゼロゼット

同時開催

kitchen car

フード・ドリンク販売のキッチンカーも登場!!



10/28(土)ふくしまからはじめよう マーチングFromふくしま2017♪ タイムスケジュール

- 10:45~ オープニングセレモニー
- 11:00~ aveライブ
- 11:30~ 陸上自衛隊第6音楽隊
- 12:00~ Shimvaライブ
- 12:30~ ブルースピカ(マーチング)
- 13:00~ オリンピック・野球トークイベント
清水 宏保・大林 素子・岩村 明憲
- 14:00~ 紺野恭子(ソプラノ)
- 14:30~ 波恵ダンスカルチャーパーク
- 15:00~ 福島市立第三小学校(吹奏楽)
- 15:30~ ゼロゼロゼットライブ
- 16:00~ 福島商業高等学校(吹奏楽)
- 16:30 閉会

※タイムスケジュールは、当日変更になる場合がございます。予めご了承ください。



作曲家・福島市名誉市民第一号

古関裕而氏
(1909-1989)

古関裕而(本名、古関勇治)は、明治42(1909)年福島市大町に生まれ、昭和5(1930)年9月に日本コロムビア(株)に作曲家として入社、以来、作曲活動を継続し、戦前においては「露営の歌」(昭和12:1937)、「暁に祈る」(昭和15:1940)等の歴史的作品を残したほか、戦後の荒廃した社会の中にあっては「とんがり帽子」「長崎の鐘」等未来へ希望を抱かせる明るい歌謡作品を発表し多く人に愛唱されています。

さらに、菊田一夫氏とのコンビで昭和22(1947)年以降は放送作品に力をそそぎ、NHKラジオ・ドラマ「鐘の鳴る丘」「さくらんぼ大将」「君の名は」等の主題歌を発表し一世を風靡したことはあまりにも有名です。こうした数々の放送関係における業績により同28(1953)年NHK放送文化賞を受賞しました。また、昭和39(1964)年アジアで初めて開催されました東京オリンピックの選手入場行進曲「オリンピック・マーチ」を作曲しました。

作曲作品総数は、5,000曲にもおよび、スポーツ・ラジオドラマ・歌謡曲・演劇・校歌・社歌等、多岐にわたっています。こうした一連の功績によって昭和44(1969)年には紫綬褒章を受章しています。

また、昭和54(1979)年4月には福島市名誉市民第一号となり、その功績と栄誉をたたえられています。

福島市古関裕而記念館ホームページより